

# 今後の電気・都市ガス・ガソリン料金

## 今後の政府の対応は？

低所得者向けの「5万円給付金」制度が2023年1月末で終了します。その代わりに、2023年1月から「電気・ガス価格激変緩和対策事業」が開始されました。これは、電力会社・都市ガス会社に補助金を交付し、それによって電気代・ガス代を「値引き」させるというものです。対象制限は特になく、全世帯が対象となります。

標準的な世帯について、2023年1月～9月の光熱費の補助金額は以下の通りです。

電気料金の負担軽減対策 <small>NHK</small>	
時期	2023年1月から
補助	家庭 7円/1kWh 企業 3.5円/1kWh (家庭は料金2割抑制)
標準的世帯	電力使用量400kWh/月 “2800円 軽減”

ガスの負担軽減対策 <small>NHK</small>	
対象	家庭・年間契約量が少ない企業
補助	30円/1立方メートル
標準的世帯	ガス使用量 30立方メートル/月 900円/月 負担軽減

その一方で2023年4月からは、電気料金の大幅値上げが予想されています。経産省に値上げ申請をしている電力会社は以下のとおりとなっています。

電力会社	規制料金値上げ幅（申請時）	値上げ予定日（申請時）
北海道電力	平均 34.87%	2023年6月
東北電力	平均 32.94%	2023年4月
東京電力	平均 29.31%	2023年6月
北陸電力	平均 45.84%	2023年4月
中国電力	平均 31.33%	2023年4月
四国電力	平均 28.08%	2023年4月
沖縄電力	平均 39.3%	2023年4月

※ガソリンなど燃料価格の補助

家計を直撃している電気・ガス・ガソリンの高騰は、厳しい冬が終わっても続きそうです。今後の動向を注視しましょう。

ガソリンなど燃料価格の抑制対策 <small>NHK</small>	
補助金	石油元売り各社へ 2023年9月まで継続
補助額	補助額は調整 段階的に縮小
上限額	35円/1リットル ↓ 2023年6月から25円以下に